

日本共産党大垣市議会議員 はんざわ多美の市政報告

第65号 2021年10月号 (後援会 NEWS 部内資料)

(9月議会の一般質問①) 高齢者や障がい者が利用しやすい交通手段を！

平成30年、小川市政の時に作成された大垣市未来ビジョンには、「自動運転の搭載」と書かれていますが、まだまだ先の話です。

この第一期基本計画

- ① 鉄道駅を中心としたバス交通等の充実
- ② 高齢者などの多様なニーズに合わせたサービスの充実

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

- ① については、バス路線の荒尾線のコース変更
(スーパーや医療機関が多い東前・大井方面への路線の変更)
など行っている

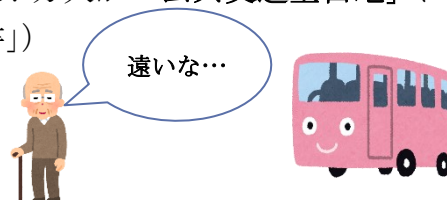
- ② については、まだまだではないですか？



国の2017年度「国土交通省調査結果」では、全国で767万人が「公共交通空白地」に住んでいるとのレポート(令和2年度版「国土交通白書」)

ここで、「公共交通空白地」は

- ・バス停まで500m圏外
- ・電車の駅までであれば1km圏外とされています。



大垣市では、「公共交通空白地」に住んでいらっしゃる高齢者が何人か？こうした視点で分析と対策が必要ではないか？市長お答えください。

(石田市長答弁)

大垣市地域公共交通網形成計画策定時(2020年10月)における住民アンケート(2019年8月)や地域懇談会(2020年1月)などでご意見を伺っております。今後、情報収集をさらに行い、地域特性や費用対効果等も考慮しつつ、交通事業者等とも連携して調査研究してまいります。

◆ POINT 1

形成計画策定から1年。住民アンケートから2年たっている。他自治体では交通計画を作った後、計画期間終了を待たず住民のニーズに対応して「再編計画」へ移行している。現計画は鉄道と路線バスに偏ってはいないか？住民要求への聞き取りや他自治体の調査など、市民に寄り添う立場で本気で調査研究を行うことが必要。早急に実証実験を行うことは喫緊の課題。

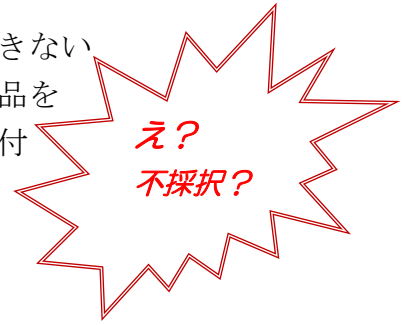
◆ POINT 2

2020年1月の地域懇談会では多様な意見がでてきた。市役所職員は、市民と一緒に地域交通を作る姿勢をもち、地域住民とのワークショップをするなど地域へ足を運ぶこと。高齢者のことは介護保険課、障がい者のことは障がい福祉課などの課ごとの押し付け合いではなく、公共交通機関を利用できない人がでないよう、トータルな制度設計を行うべき。

(9月議会請願)

小中学校トイレに、生理用品を置いてください。~~請願採択~~と思いきや・・・

新日本婦人から請願が出されました。コロナ禍で生理用品を調達できない子どもたちの問題が顕在化。県議会でも、県立高校のトイレに生理用品を備え付ける請願が採択されました。海津市や養老町、山県市でも備え付けが決まっています。安心できる学校に。大垣市もお願いします。



(請願項目)

1. 大垣市の小中学校トイレに、返却不要の生理用品を設置すること。
2. 設置トイレや設置方法については、各学校で検討すること。

自民クラブ	緑風会	民主	公明	共産	市民ネット
×	×	×	×	○	○

(9月議会一般質問②)

子どもたちにとって大切な特別支援学級の拡充につながるように 9月一般質問で要望しました。近日中に ZOOM を使ってオンライン市政報告会も行いたいと思っています。

SNS やホームページのチェックをぜひ！ URL : <https://hanzawatami.net> Twitter : <https://twitter.com/hanzawatami>

(要望内容)

1. 個別支援計画と個別指導計画が、学級担任と教科担任と親の共通理解のもと作成され、これが実際に実行されるようにしてください。
2. 特別支援教育の充実のために、教育委員会の特別支援教育グループや教育総合研究所での研修や助言の質を高め、学校現場へ生かしてください
3. 特別支援教育の免許を持つ教員数を増やし学校現場に配置できるよう、教員養成をすすめてほしいと県に働きかけてください。県立の特別支援学校からの助言等の支援を特別支援学級が受けやすくするように県に働きかけてください。せめて、教員が病欠で休むときに補充ができない教育現場の実態を解消するよう県に働きかけてください。
4. 県の教員育成と採用が間に合わない部分は、市が手厚く予算をつけ教員の確保を行ってください。

衆議院選挙が 10月31日(日)に決定！！自公政権では暮らしは変わりません！



自公政権に NO といわないと。衆議院の任期は 4 年。これから 4 年間の国政が問われます。国会論戦での日本共産党のパンチ力は、テレビ中継で皆さんも感じてくださっていると思います。一人でも多く、日本共産党から国会議員を送り出したいと思っています。わたしは、後期高齢者医療費原則 2 割(来年 10 月ごろから施行)を何としても止めたいです。そして、終の棲家としての特別養護老人ホームの居住費と食費への支援要件に、

無慈悲なまでの所得制限や資産調査を始めています。こんな国政を変えたい！三尾圭司さんとともに、大垣市をかけ回っています。(10月3日(日)久徳・桜町にて)